

今日のトピック 米国BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）の動向 資金需要が旺盛な中小企業、発展が見込まれるBDC

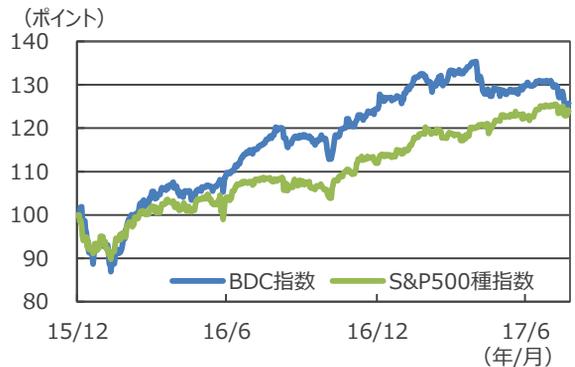
ポイント1 中小企業を金融面から支援 高利回りが特徴

- BDCは、ビジネス・ディベロップメント・カンパニー（Business Development Company）の略称で、中小企業が展開する事業に対して、金融面、経営面から支援を行う投資会社のことです。BDCは銀行に代わって、中小企業に融資を行ったり、株式に投資することで、高い値上り益や配当を獲得しています。事業から得られた利益の多くを配当として投資家に分配するため、配当利回りが高いことが特徴です。

ポイント2 良好なパフォーマンス 相対的に高い利回りが魅力

- BDCの代表的な指数であるウェルズファーゴBDCトータル・リターン指数の2015年末から直近8月23日までの上昇率は+25.8%となり、米国の代表的な銘柄からなるS&P500種トータル・リターン指数の+23.8%を上回りました（トータル・リターンは価格の騰落だけではなく、配当も加味した総合的な収益）。
- その背景には、米景気の持続的拡大に伴う中小企業の資金需要の増大といった良好な外部環境に加え、BDCの相対的に高い利回りがあると考えられます。参考までに、直近8月23日のウェルズファーゴBDC指数の配当利回りは9.66%となっています（S&P500種指数の配当利回りは2.01%）。

【BDC指数とS&P500種指数の推移】



(注) データは2015年12月31日～2017年8月23日。2015年12月31日=100として指数化。BDC指数はウェルズファーゴBDC指数。S&P指数、BDC指数ともトータル・リターン指数。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 今後も発展が見込まれる

- 全米独立企業連盟が作成・公表している中小企業楽観指数は、昨年後半から大きく上昇しています。特に、「売上高見通し」、「事業拡張計画」といった、将来の見通しに関わる指標の上昇が顕著でした。中小企業の資金需要が旺盛なことを示唆するものです。
- 金融緩和は解除の方向にありますが、そのペースは緩慢と見られます。BDCを取り巻く環境は、今後も良好な状態が続くと予想されます。

【米企業景況感指数の推移】 (ポイント)



(注) データは2000年1月～2017年7月。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも チェック!

2017年8月14日 米国株式市場は予想株価収益率が低下

2017年8月14日 規制緩和で上昇する米『中小企業楽観指数』

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。